

保護者様

令和6年2月5日

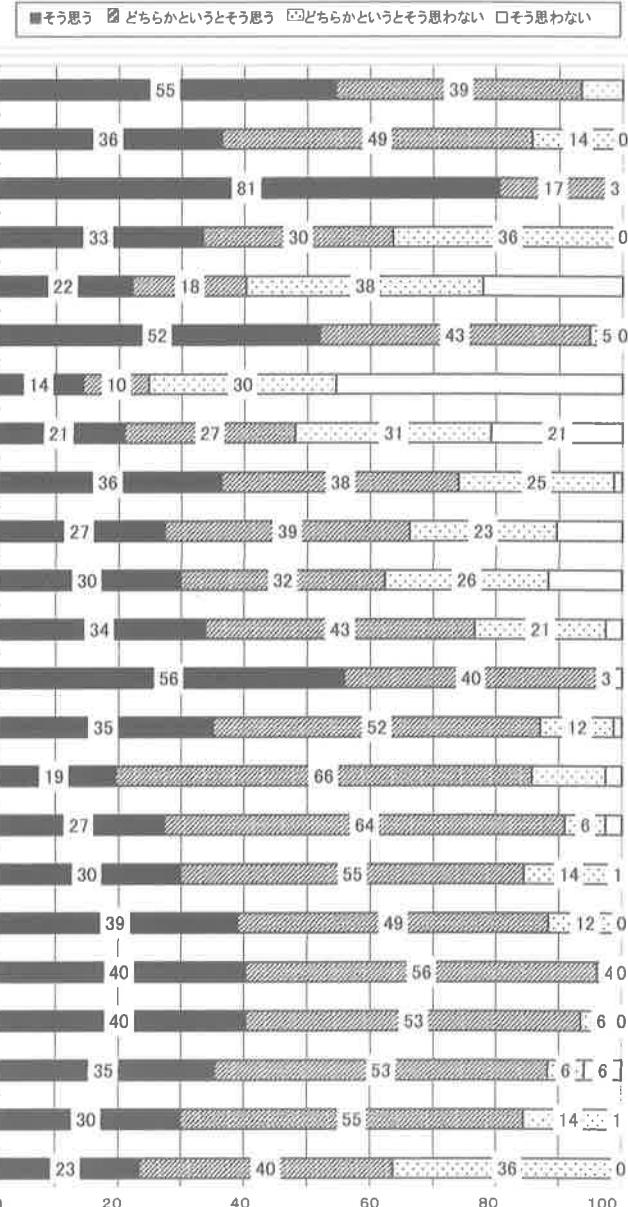
鴨川市立田原小学校
校長 前田 桂子

令和5年度 田原小学校「学校生活アンケート」結果のお知らせ

日頃より、本校の学校教育に対し、ご理解・ご協力いただきありがとうございます。
過日、実施しました「学校生活アンケート」の結果をお知らせします。皆様からいただきました貴重なご意見は、今後の学校経営に生かしていきます。今後とも、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いします。

【保護者の方々へのアンケート結果…回答数77】

No.	項目
1	お子さんは、明るく元気に登校し、楽しく学校生活を送っている。
2	お子さんは、進んで気持ちのよいあいさつや返事をしている。
3	お子さんは、朝食を毎日食べている。
4	お子さんは、早寝・早起きの習慣が身についている。
5	お子さんは、テレビやゲーム・インターネット(パソコン・携帯電話・スマートフォン)の時間を意識している。
6	お子さんは、交通事故に気をつけて登下校し、安全に対する意識が高まっている。
7	お子さんは、家庭の中で、進んで読書をしている。
8	お子さんは、英語に 관심をもっている。
9	お子さんは、自分の考えを積極的に表現している。
10	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。
11	お子さんは、体力向上や健康の増進を目指した活動に積極的に取り組んでいる。
12	お子さんは、将来の夢や希望をもっている。
13	お子さんは、優しい気持ちや思いやりの心が育っている。
14	(※6年生のみ回答ください。) お子さんは、中学校生活への希望を抱いている。
15	学校では、いじめのない心の通い合う集団がつくられるように努めている。
16	学校では、わかりやすく細かな学習指導が行われている。
17	学校では、子どものよさを認め、やる気をもたせるよう努めている。
18	学校では、子どもや家庭からの悩みや相談に誠実に対応している。
19	学校での様子やとりくみが、各種たより等でわかりやすく述べられている。
20	学校は、安心・安全な学校づくりに努めている。
21	家庭では、学校の様子など、子どもの話をよく聞いている。
22	お子さんは、目標やめあてに向かっておきらめずに最後まで取り組もうとしている。
23	お子さんは、パソコン・携帯電話・スマートフォン・タブレットを持っていない。 A=専用 B=家族共有のものを所有 C=持っていない

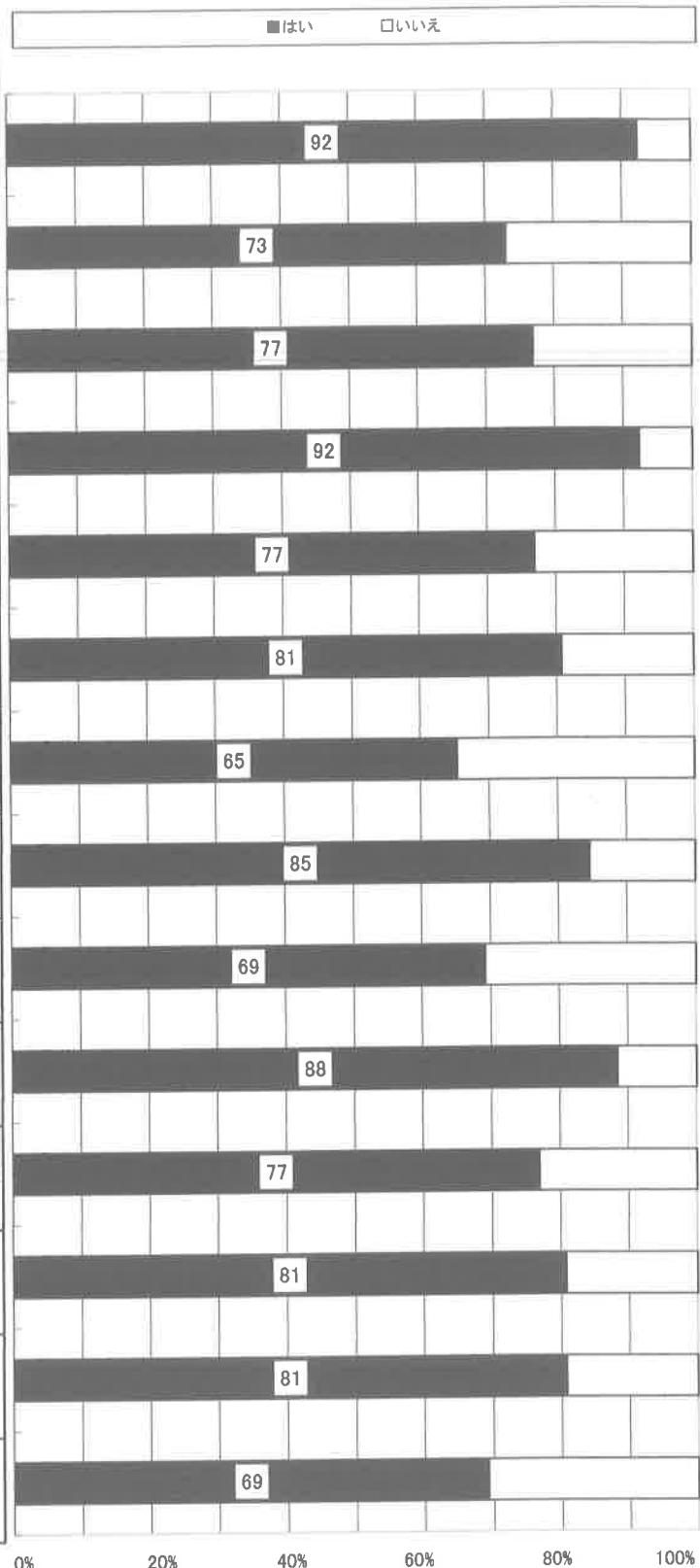


※全件の合計が100%にならない場合もありますが、各学年ごとの切り捨て数値の合計ですので、ご了承ください。

【まとめ・努力点等】	○よかったこと	◆努力したいこと
○No.1 「楽しい学校生活」、No.2 「挨拶・返事」、No.3 「朝食」、No.13 「思いやりの心」の回答などから、おおむね子どもたちが優しい思いやりの気持ちをもって、楽しく学校生活を送っていることがわかります。また、進んで挨拶をし、周囲の人と気持ちよくかかわろうとしているところもうかがえます。学校では引き続き、児童会の取組と連携して挨拶を推奨すると共に、学習指導・生活指導の両面から子どもたちの学校生活を支えるよう努めます。各家庭においても、これまで同様に子どもたちの安定した指針の健康維持に協力をいただけようお願いします。		
○No.19 「各種たより等」では9.6%が肯定的な回答という結果でした。各学年だよりの他、学校だより、保健だより、児童会だより、PTAだより等について引き続き継続して情報発信をすることに努めます。本校のホームページについて、一般の方々から「学校の様子がよくわかる」「最新の情報をこまめに掲載している」「ホームページの構成が整理されており読みやすい」等のメッセージをいただいています。今後もホームページを活用して、学校の情報を広く公開するよう努めます。		
◆No.7 「家庭での読書」については、肯定的な回答が全項目の中で最も低く2.4%という結果でした。昨年度は、子どもリサイクルの収益で多くの本を購入するなど、子どもたち自身が読書環境の充実の必要性を感じていることがわかりました。学校では毎年計画的に図書室の本を購入しています。また、図書ボランティア「PUKE」の皆さんとの協力を得て、読み聞かせと図書室環境の整備、図書の修理等にも取り組んでいます。各家庭において、子どもたちが読書に親しみ、読書の時間を保障することができるような方法を、今後一緒に考えていきましょう。		

【1・2年生児童へのアンケート結果…回答数26】

No.	項 目
1	わたしは、げんきよくがっこうにくくことができ、たのしいがっこうせいかつをおくることができました。
2	わたしは、はなをそだてるかつどうに、いつしょうけんめいとりくめました。(たねまき・みずかけ・くさとりなど)
3	わたしは、あさのうたや、おんがくのじかんのうたなど、いつしょうけんめいうたえました。
4	わたしは、しゅくだいをしっかりやることができました。
5	わたしは、じゅぎょううちゅう、じぶんのかんがえを、すすんではっぴょうすることができます。
6	わたしは、けんこうにきをつけ、すすんでもうんどうにとりくむことができました。
7	わたしは、まわりのひとたちに、わるぐちやいじわるをすることがなく、なかよくせいかつできました。
8	わたしは、かかりのかつどうを、いつしうけんめいにとりくむことができました。
9	わたしは、じぶんからすすんで、あいさつやはんじがだれにでもできました。
10	わたしは、まわりのひとになにかしてもらったとき、「ありがとうございます」とかんしゃのきもちをことばでいうことができました。
11	わたしは、そうじのじかん、いつしょうけんめいにとりくむことができました。
12	わたしは、こまっているひとをみかけたとき、「だいじょうぶ？」など、やさしくこえをかけることができました。
13	わたしは、めあてにむかってあきらめずにがんばりました。
14	わたしは、てれびやげいむ・いんたあねつと(ばそこん・すまほ・たぶれつ)のじかんをいしきしていました。

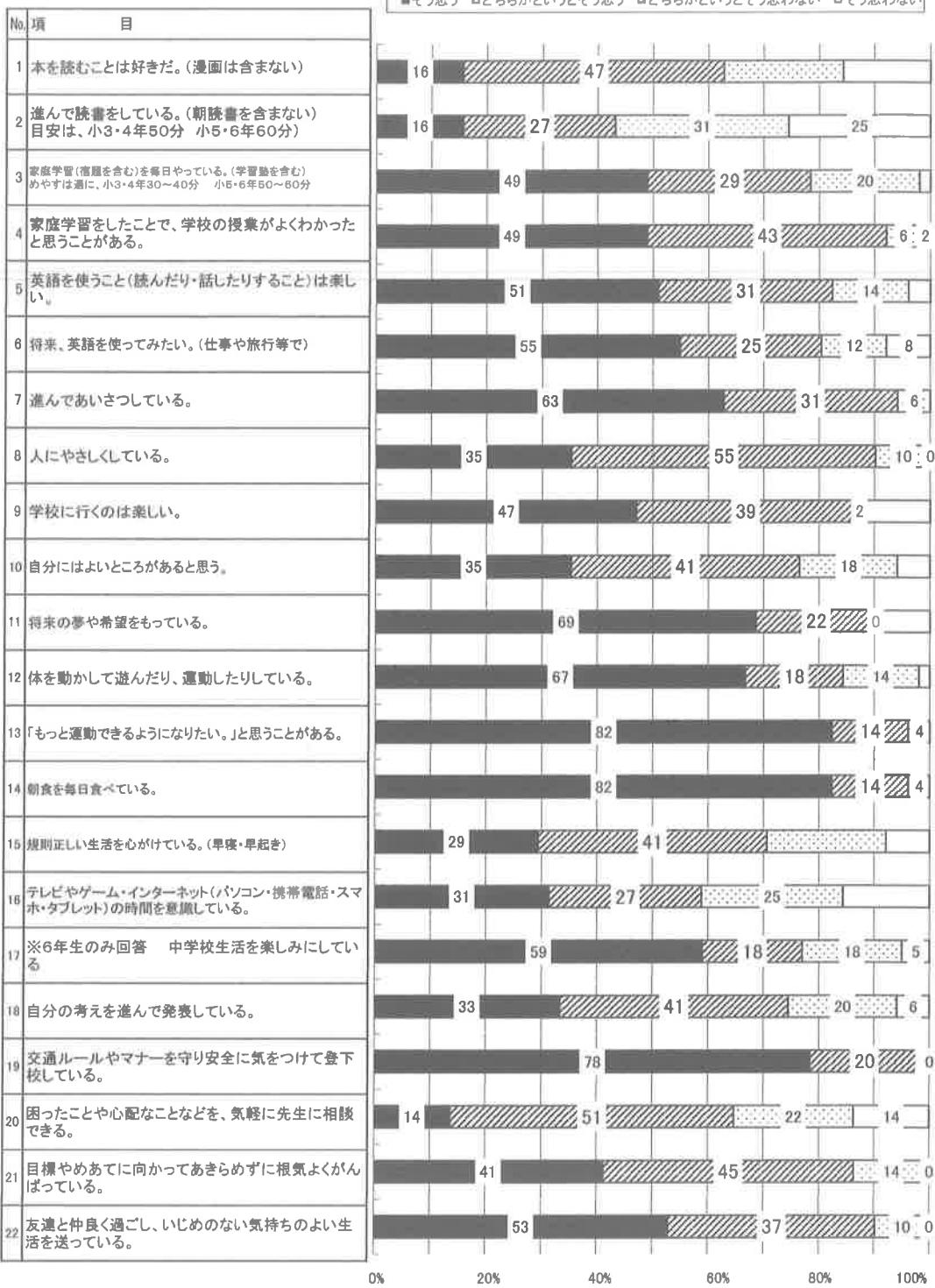


0% 20% 40% 60% 80% 100%

※全体の合計が100%にならない場合もありますが、各学年の切り捨て数値の合計ですので、ご了承ください。

【まとめ・努力点等】 ◎よかつたこと ◆努力したいこと
 ○全体的には良好な結果という認識です。特に、NO1。「元気よく登校」、NO.4「宿題の取組」、NO.10「感謝の言葉」は「はい」の回答が88～92%という好結果でした。家庭が明るく子どもたちを学校に送り出していることがうかがえます。家庭生活の安定が子どもの学校生活の基盤となり、様なことに前向きに取り組もうという気持ちの原動力になります。今後も引き続き、子どもたちが明るい気持ちで登校できるよう各家庭の支えへの協力をお願いします。
 ○NO.8「係活動への取組」では、85%が「はい」と回答しています。自分の役割をもち、学級全体のために役立つ経験は、やがて高学年になった時に委員会活動に結び付いていきます。学校は、今後も自己有用感や達成感のもてる係活動の場を保障するよう努めます。
 ◆NO9「挨拶」、NO14「テレビ・ゲーム」は、全項目中最低く69%という結果でした。学校は、児童会の取組と連携しながら挨拶を交わすことの喜びをたくさん経験することができるよう配慮していきます。ぜひ、各家庭においても家族間の挨拶をすることや気持ちのよい挨拶をし良好な関係づくりをする大人の姿を子どもたちに見せてくださいとのお願いします。また、学校では5月に行っている「電気をつかわず遊ぼうデー」の取組を今後も継続し、ゲーム・パソコンから離れて目を休める時間をもつことを推奨する取組を継続します。今後も、この取組への各家庭の支援をよろしくお願ひします。

【3~6年生児童へのアンケート結果…回答数51】



※全体の合計が100%にならない場合もありますが、各学生の切り捨て枚数の合計ですので、ご了承ください。

【まとめ・努力点等】

○上かつたこと

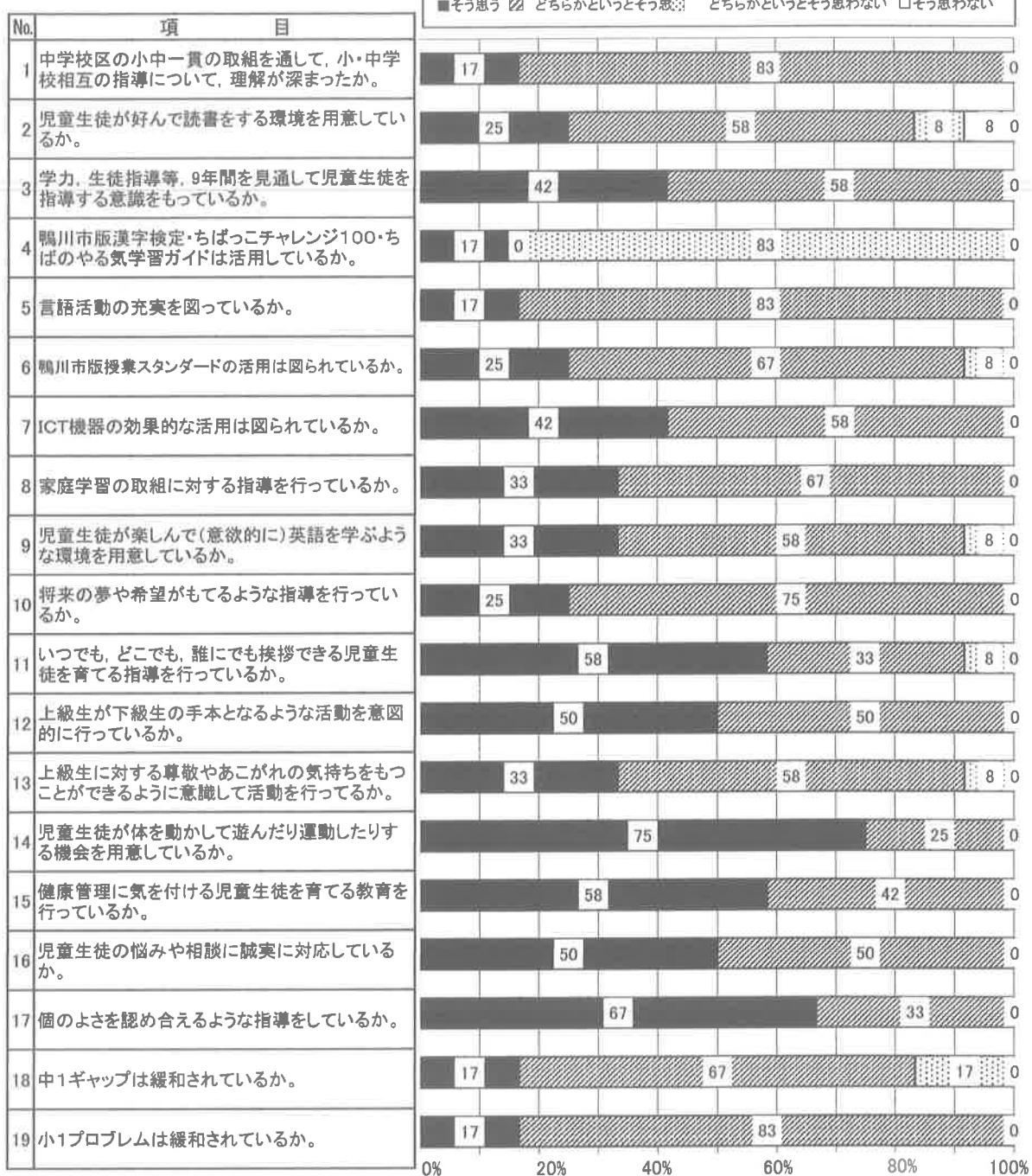
◆努力したいこと

○No.7「挨拶」、No.13「もっと運動」、No.14「朝食」、No.19「安全な登下校」は、94~98%と好結果でした。児童会では、代表委員会にあがってきた学校生活の課題について対策を話し合い全校に呼びかけを行うなど、自動的な活動を積極的に行ってています。それらの成果がこの結果に反映されていることがうかがえます。今後も、「自分たちの学校生活を自分たちの手でよりよく」という子どもたちの思いを学校として支援していきます。「朝食」については、毎年大変優れた結果を維持しています。各家庭の協力の強さを実感しているところです。

○No.4「家庭学習」については、家庭学習に意味をもって取り組んだことが授業理解につながっていることがわかります。本校では、3年生以上の学年で鶴川中学校区の取組の一つである「自学」に取り組んでいます。自分で課題を決めて取り組むことが、苦手の克服や学習内容の定着に効果的であることがうかがえます。今後も、自学を推奨すると共に、担任の自学ノートへの指導・助言に力を入れていきます。

◆No.1およびNo.20「読書」については、項目全体の中でも特に低い結果でした。一人一台パソコンを活用した、いわゆる從来のようにノートに書いたり・書物で調べたりする学習活動にしばられない幅広い学習活動が可能です。しかし、読書によって身につく力(読み解く力、知識、集中力、思考力等)の本質は変わらないものであると考えます。学校は、子どもたちが純粹に本に親しむことができる場の設定に努めます。No.15およびNo.16の「規則正しい生活・テレビやゲームの時間」については、読書に統いて低い結果でした。これは、保護者や低学年のアンケートと共に通する結果です。各家庭において、子どもたちの健康で健全な成長を考慮した家庭生活について、おさんと共に考える機会をもつことをお勧めします。

【教職員へのアンケート結果…回答数12】



※全体の合計が100%にならない場合もありますが、各学年ごとの切り捨て数値の合計ですので、ご了承ください。

【まとめ・努力点等】 ○よかったこと ◆努力したいこと
 ○全体的に良好な結果と認識しています。特に、NO.1「鴨川中学校区の取組」については、100%の結果でした。今年度は、コロナ禍以前のように鴨川中学校区の研修を参考して行ったことで研修の共通理解が一段進んだことがうかがえます。今後も、中学校区共通実践に継続して取り組みます。NO.18「小1プロブレムの緩和」についても100%の結果でした。敷地が隣接しており子どもたちも職員も日常的に交流していることの成果であると考えます。
 ○NO.5~NO.9の「学習指導」では、図書室を活用したりICT機器を活用したりした指導の充実を図っていることがわかります。引き続き、図書資料やICT機器の活用を図りながらも、自分の言葉で考えを述べたりノートに記述したりする学習活動を大事にし、思考力・表現力の向上をはかるよう努めます。一方、県教育委員会が推奨するちばっこチャレンジ100のようなプリント学習活用の機会は減少傾向にあります。実際にはeライブラリ等タブレットPCを活用した繰り返し学習の機会は充実しています。学習場面や学習内容、子どもの個性等を考慮しながらよりよいものを活用していきます。ちはっこチャレンジ100は、本校のホームページにリンクが貼ってありますので、各家庭からもアクセスして、ぜひ、有効に活用してください。
 ◆NO.18「中1ギャップ」については、数値としては低くはないものの全項目の中では低い結果でした。中学校への進級は、校舎が変わり学ぶ環境が大きく変わり心配や不安もあるという子どもの心情を考慮し、中学校生活に期待と希望がもてるような言葉かけに努めます。